

こも お 薦生遺跡発掘調査 現地説明会資料

～名張市薦生～

2021（令和3）年7月31日

三重県埋蔵文化財センター



名張川からみた薦生遺跡（東から）

今回の調査では、平安時代（前～後期、約1200～900年前）の遺構・遺物は確認できませんでした。古文書に「薦生牧」とあるように、付近は草原となり、牛馬の放牧に利用されていたのかも知れません。中世（平安時代末～鎌倉時代、約800年前）には小規模な掘立柱建物がみられることから、土地の再開発と東大寺の荘園化が進んだと考えられます。このように、発掘調査によって古代から中世の土地利用の移り変わりが明らかになり、古文書と比較する上で重要なデータが得られました。



建物1（北東から、人が立っている所が柱穴）

奈良時代の官衙か？大型掘立柱建物を発見！！

薦生遺跡は、名張市の北西、名張川沿いの台地上にある縄文時代から中世の遺跡です。古代・中世の東大寺（奈良県）に関する古文書には、「薦生牧」（平安時代）・「薦生庄」（鎌倉時代）などの名前が残されています。平安時代には東大寺領板蠅杣など大寺院の木材を伐り出す山林（杣）が付近にあり、これらの杣は名張盆地に東大寺の荘園（黒田庄）を生み出すもととなりました。

今回、薦生遺跡で初めて発掘調査が行われることとなり、古代・中世の掘立柱建物などが見つかりました。特に、古代の建物群は奈良時代の官衙（古代の役所）に関わるものとみられ、注目されます。



遺跡位置図
(国土地理院基盤地図情報を
カシミール3Dスーパー地形で作図)

<関連年表>

- 715（霊亀元）平城京から名張へ抜ける山道（都祁山道）が開かれる
- 755（天平勝宝7）板蠅杣、孝謙天皇の勅命により東大寺に施入という（※11世紀の偽文書とされる）
- 950（天曆4）東大寺が板蠅杣の四至を拡大し、薦生牧などを包み込もうと画策する
- 962（応和2）薦生牧・広瀬牧など、興福寺転経院僧都円珍の遺言により、藤原朝成に譲渡
- 964（康保元）薦生牧をめぐり、東大寺と朝成の相論となり、朝成の荘園となる
- 974（天延2）藤原朝成死去
- 1025（万寿2）薦生牧が朝成の妹孫の経通に伝領される
- 1034（長元7）～
- 1058（天喜6）名張盆地（宇陀川左岸）の東大寺荘園化が進む（黒田本庄の成立）
- 1128（大治3）東大寺荘園目録に「笠間庄加薦生」と記される
- 1135（保延元）名張盆地の夏見・矢川・中村に津（木津）、中村・芋生・安倍田などに木屋設置
- 1203（文治4）東大寺政所支配状に「薦生庄」と記される
- 1282（弘安5）黒田庄悪党の蜂起（のちに周辺住民も加わり、名張郡悪党と呼ばれる）
- 1340（暦応3）東大寺、黒田・薦生の住民が比叡山と通じ、郡内に城を構え寺に従わないと訴える
- 1369（応安2）悪党活動が鎮圧される

（石母田正「黒田庄略年表」『中世的世界の形成』（岩波文庫版）岩波書店、1985年 / 平松令三編『三重県の地名』平凡社、1983年 / 小泉宣右「黒田荘」「黒田悪党」『国史大辞典』吉川弘文館、1984年を元に作成）

調査遺跡名：薦生遺跡
所在地：三重県名張市薦生
調査面積：約1,400㎡

原因事業名：上笠間八幡線道路改良事業
調査実施機関：三重県埋蔵文化財センター
調査期間：令和3年4月28日～令和3年8月30日（予定）

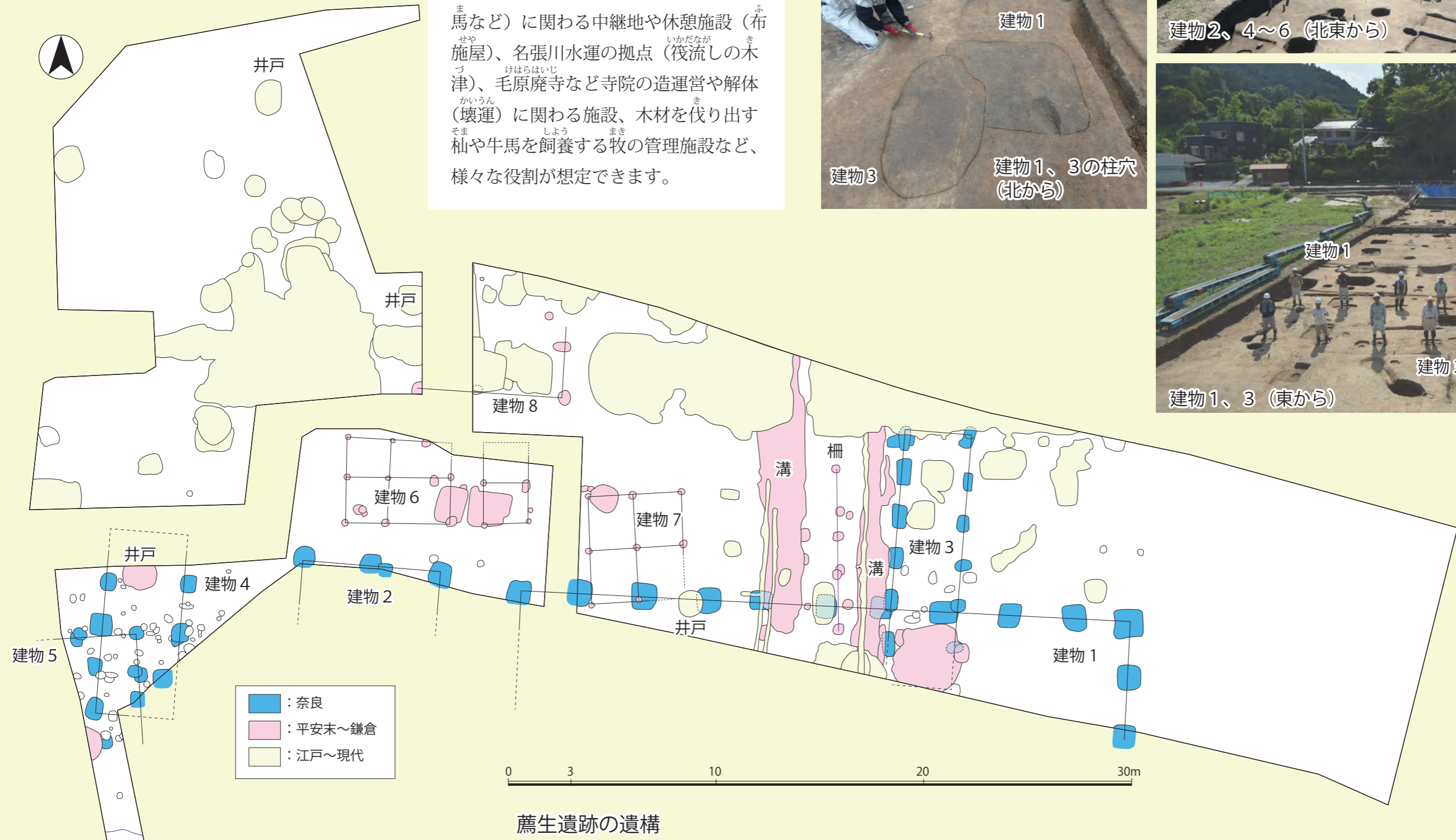
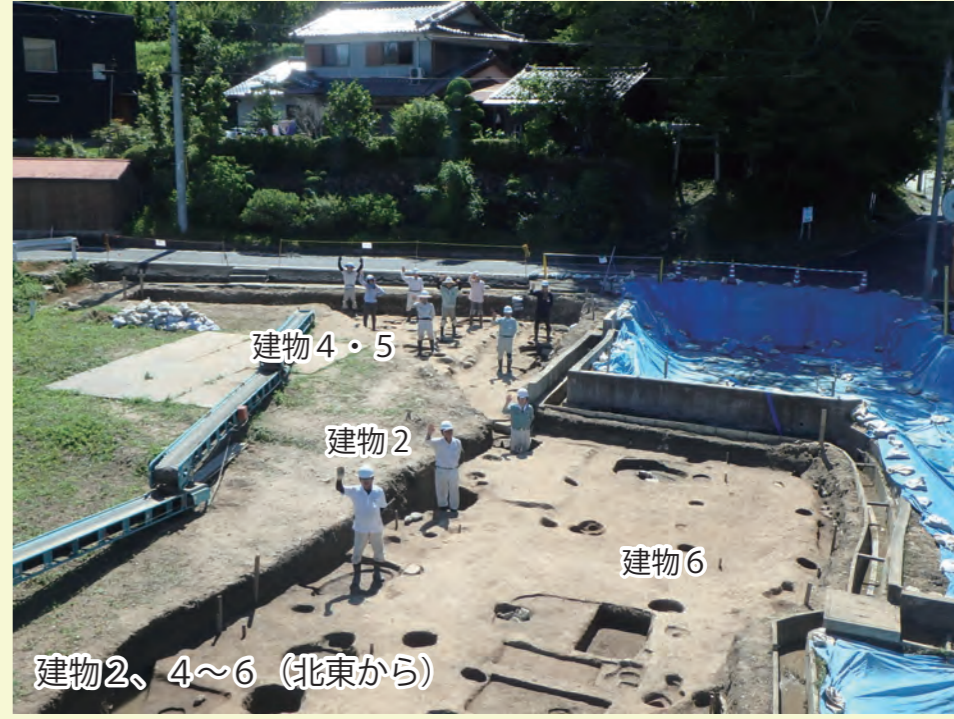
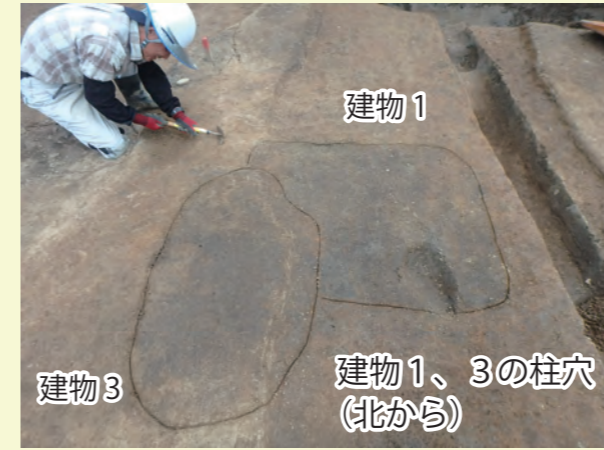


周辺地形図と関連遺跡（国土地理院基盤地図情報を
カシミール3Dスーパー地形で作図）

古代（奈良時代か、約 1,300 年前）の掘立柱建物は少なくとも 5 棟あり（建物 1～5）、建物の向きや柱穴の重なり方などから、大きく 2 時期に分けられるようです。出土遺物が非常に少なく、細かい時期は不明です。建物はいずれも柱穴（柱を据えた穴）が一辺約 1.0m～1.2m と大きなものでした。このうちの建物 1 は、「官衙」（古代の役所）に用いられる「長舎」という形式の建物とみられ、東西 10 間（約 30m）・南北 2 間以上（6m 以上）の大きさが推定できます。

薦生遺跡の周辺には、大和から伊賀や伊勢へと向かう道があり、奈良県山添村毛原廃寺跡や岩屋瓦窯跡など、奈良時代の重要遺跡が点在しています。このようなことから、薦生遺跡の掘立柱建物群は、その道沿いに置かれた公的な施設（古代の役所）ではないかと推測されます。

今のところ、墨書土器などの文字資料が出土していないため、施設の名前や役割はわかりませんが、名張郡や夏見郷の出先機関、交通（伝馬など）に関わる中継地や休憩施設（布施屋）、名張川水運の拠点（筏流しの木津）、毛原廃寺など寺院の造運営や解体（壊運）に関わる施設、木材を伐り出す杉や牛馬を飼養する牧の管理施設など、様々な役割が想定できます。



薦生遺跡の遺構